

FSCの設立趣旨 土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

十和田農場・飼料自給部門の報告

春から夏にかけての播種作業とデントコーンの育成状況／実演機の紹介

4月8日に昨年度導入した、不耕起汎用ドリルで牧草の追播を行いました。初めての運転のため、みちのくクボタの技術者にご協力いただき、播種量や播種する深さの調整を行ってからの作業となりました。圃場1-2（約1.5ha）にイネ科牧草と少量のマメ科牧草を混ぜて播種しました。

続いて、5月28日には圃場2-2（約1.5ha）にデントコーンの播種を行いました。発芽直後にカラスの食害に遭い、約半分の芽が引き抜かれてしまいました。そのため来年は対策を考えようと思

います。収穫は9月中旬です。

6月30日にはカラス被害で欠損した部分にソルゴーを播種しました。不耕起汎用ドリルに細工をして条間を調整して播種しました。ソルゴーは温暖向けの植物ですが、近年の気温上昇に伴い、温暖化対策として試験的に栽培してみました。

6月4日～6月26日まで、ヤンマーアグリジャパンから実演トラクター（John Deere 6140M）を借りて、1番草の刈り取りとロールを行いました。高馬力のトラクターであるため傾斜地でも余裕で作業ができました。また、車体とシートのサスペンションが走行時のショックを和らげてくれ、腰の負担が軽減されました。このトラクターはCVTと呼ばれるミッションであり車速の細かい調整ができ、クラッチ操作がほぼいらなくなるため簡単に作業ができました。このJohn Deereトラクターに乗ることができ、非常にいい経験になりました。



写真 食害を受けたデントコーンが成長した様子
（7月14日撮影）

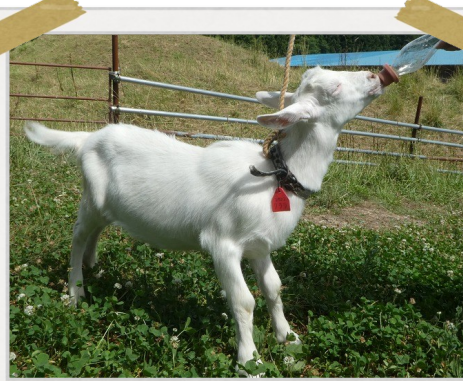
今号のどうぶつ紹介

4月に生まれたヤギのクララを紹介します。

十和田農場には、雌のヤギが3頭しかおらず、最後の雄が死亡して以降、自然交配ができない状態が続いていました。そこで、動物生殖学研究室の永野先生のご協力のもと、昨年度中に人工授精による繁殖を試みたところ、1頭が受胎し、無事に分娩に至りました。

生まれたのは双子でしたが、うち1頭は虚弱で起立が困難な状態でした。今にも息絶えそうな様子だったため、すぐに保護して人工哺乳に切り替えました。保護直後には右目の異常も確認され、起立困難は右半身の麻痺によるものかもしれないと疑われました。しかし、クララ自身の強い生命力と職員の懸命な哺育により、現在は右目の視力は無いようですが、麻痺の痕跡もなく、元気に駆け回っています。

ちなみに、双子の姉は「うめまる」といいます。そろそろ離乳の時期となり、離乳後は約3か月ぶりの姉妹再会となります。しばらくの間は、2頭で仲良く（…かどわかにはさておき）過ごすことになりそうです。



クララ（日本ザーネン種）

八雲牧場 新入職員のご紹介

新入職員 発出 洋平さん／異動着任 沼田 譲 課長補佐

○5月1日より八雲牧場に新入職員発出洋平さんが着任しました。

皆様初めまして。5月よりフィールドサイエンスセンター八雲牧場に入職致しました発出陽平（はつでようへい）と申します。

地元北海道出身で、前職は牧場の仕事とは別の仕事をしていました。畜産や研究に携わる仕事は

初めてですが、牧場の皆さんにご指導を頂きながら楽しく、日々仕事を頑張らせて頂いています。

早く業務を覚えて皆様の力になれる様頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



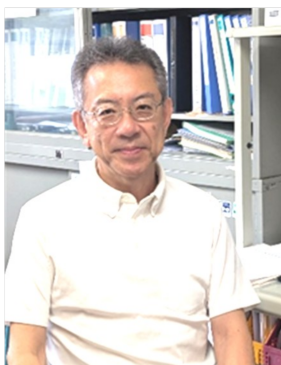
○6月9日より八雲牧場・実習所の事務職として獣医学部より沼田課長補佐が着任しました。

この度、6月1日付で獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場並びに八雲総合実習所の事務室に着任いたしました沼田譲と申します。

北里大学に入職してから40年近くになります。異動前は、十和田キャンパス（獣医学部）で33年、途中に相模原キャンパスへ2度の単身赴任（看護学部、教学センター、海洋生命科学部）で

通算約6年間勤務させていただいておりました。

着任した八雲牧場内では、これまで経験のない業務が多々ありますので、皆さまにご迷惑をおかけすることがないように、早く仕事を覚えたいと思っておりますので、ご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。

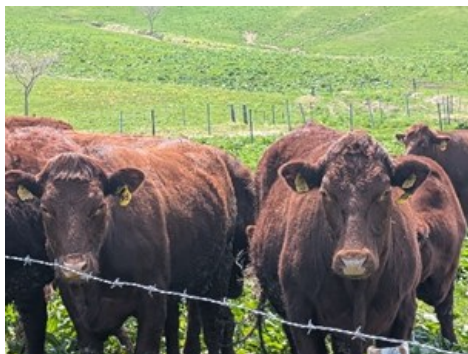


今年度の放牧が開始

八雲牧場

5月12日より今年の放牧が開始されました。肥育牛90頭が町営育成牧場の放牧地に家畜車で移動させ、繁殖牛および育成牛は場内放牧地に順次放牧されていきます。

長い冬もようやく終わり新緑の季節となりました。牧草も伸びてくるとパドックから首を一生懸命伸ばし今年の初物の牧草を我先にと食べています。



次号の予定と編集後記

毎日暑いですね。本当に暑いです。農場は人も動物もバテバテです。

特に、農場にいる牛や羊は暑さに弱い動物です。日中は日陰になる畜舎にじっと動かず、日が落ちた夜や朝方の涼しい時間に放牧地に出かけていきます。そうはいつても、この暑さです。畜舎の中も暑い。ただじっと座っていても暑い。まさに異常な暑さです。

そんな私は、たまに農場にやってくる子供たちに癒されています。先日農場見学に来てくれた小2からは、あれほど説明したはずなのに「ヤギのマンクスロフトンがかっこよかった」と挿絵付き感想文が届きました。つまり、私の話はひとつも聞いていないけど、よく観察できていてえらい！（編集：岩城）